



1月25日は学校一斉休校になりました。  
(SurfaceGo3を利用して1月25日撮影)

新年を迎え、3学期がスタートしました。今年は1月24日からの大寒波により雪が降り積もり、守山高校にも真っ白な景色が広がりました。歩道も雪に覆われ、非常に危険な状況でしたが、何とか学校にたどり着くと、校門で少し傾いた雪だるまがお出迎えをしてくれました。素朴な顔に癒やされますね。まだまだ寒い日々が続くので、体調に気をつけてお過ごしください。

さて、3学期に入り、来年度のBYODの準備も本格的にスタートしました。今年度の経験を元に、更なる有効な活用につながるような企画をしていきたいと考えています。

## 教科での活用事例（ソフィー先生・飯田先生 論理表現・LET）

今回は今年度から始まった「論理・表現」という授業を見学してきました。学習指導要領によると右のように示されており、発信力育成のための科目であり、特に論理の構成や展開の上達を目標に掲げています。英語を通して自身の考えを伝え、ディスカッションしていく科目です。

### ◆プレゼンテーションとディスカッションのサイクル

2学期にはディベートが行われていましたが、3学期は自分たちの主張を伝えるだけでなく、他の班の主張を聞いた上で、班で再度ディスカッションをし、自分たちなりの結論を導いていく、プレゼンテーションとディスカッションのサイクルが行われていました。学習指導要領では外国語によるコミュニケーションにおける考え方とは、「**コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて情報を整理しながら考えなどを形成、再構築すること**」とされています。例えば、ただ単に意見文を書かせるだけでなく、目的や場面、状況等などの条件を常に意識しながら、自分の思考・判断・表現という認知活動を調整できることが必要であるということです。今回は「パームオイル」を題材にディスカッションが展開されていました。パームオイルの「使用を廃止するか」、「サステナブルに活用していくか」について、そこに関わる様々な人の立場で考え、チームとしての結論を導き出します。その後、ポスター発表を通し、他の班の意見に触れ、自分たちの考え方を見直し、再考するという流れで展開されていました。**ポスター作製はBYOD端末で作製し、「共有」という機能を活用して簡単に他の班に提示されていました。**ポスター作製・ポスター発表を簡単にできるようになったのもBYOD端末導入したからこそできる活動であることを改めて感じ、とても参考になりました。

「論理・表現Ⅰ」は、中学校において育成したコミュニケーションを図る資質・能力を踏まえ、「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」及び「書くこと」の三つの領域（以下「三つの領域」という。）を中心とした発信能力の育成を強化するため、選択履修させる科目として創設した。特に、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、1つの段落を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して、話したり書いたりして伝える又は伝え合うことなどができるようになることを目標としている。また、「英語の特徴やきまりに関する事項」において、「論理の構成や展開及び表現などに関する事項」を扱う。

「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 外国語編英語編」より



## 端末は「こんなことをやりたかった…」が実現できる夢の学習道具！！

今回はBYOD端末を活用して「ポスター制作」と「ポスター発表」を簡単に実践されていました。今までは、作製するにもCAI・CALL教室でしか作業ができませんでしたが、現在は教室でも家でも行うことができます。また、ポスターを印刷やプロジェクターで映し出す必要もなく、端末を通じて簡単に共有ができ、同時にいくつもの発表ができる。BYOD端末の可能性を感じる授業でした。